

平成31年 2月 7日

上ノ国町議会議長

石澤一明様

氏名 石澤一明



平成30年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項（第2項）に基づき、別紙のとおり平成30年度政務活動費収支報告書を提出します。

## 政務活動報告書

### 1 政務活動名

- ① アコヤガイの核移植、養殖、加工施設視察調査。
- ② 栽培漁業センターの種苗生産施設視察調査。
- ③ 太陽光利用型植物工場の果菜周年栽培視察調査。

### 2 政務活動内容

- ① 1月28日、三重県鳥羽市のミキモト真珠島で、アコヤガイなどへの真珠を採るための核移植や養殖、採取、加工技術についてスライドや技術者から説明を受け、真珠生産について研修、視察調査をした。
- ② 1月29日午前、三重県志摩市の三重県栽培漁業センターで魚介の種苗生産技術や生産施設、放流実績について研修、視察調査をした。
- ③ 1月29日午後、三重県松坂市の三重県農業研究所で太陽光利用型植物工場のイチゴ、トマトの周年栽培について研修、視察調査をした。

### 3 政務活動成果

- ① ミキモト真珠島は、1893年に御木本幸吉が世界で初めて真珠の養殖に成功した島で、現在では伊勢、志摩をはじめ九州や沖縄など各地で養殖されている。今はアコヤガイのほか



に他の貝に核を移植している。熟練者でも、核の移植技術や養殖技術が難しく、良品の真珠は30%くらいしか採れないとのこと。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

② 三重県栽培漁業センターは、志摩市の英虞湾にあり、管理培養棟鉄筋コンクリート造、延べ481.5㎡、アワビ採苗、育成棟720㎡、魚類飼育棟773.2㎡、マダイ親魚槽30㎡×2、ナンノクロボシス培養槽80㎡×5、その他付帯施設で、昭和53年度から基本施設を設置し、昭和56年度からアワビ、クルマエビ、アコヤガイの



種苗生産をおこなっている。昭和62年度からヒラメ、マダイ、トラフグの種苗生産を開始した。同センターと尾鷲栽培漁業センターでは、種苗生産技術が確立された水産動物の中から、三重県漁業の中でも重要な位置を占める、アワビ、クルマエビ、ヒラメ、トラフグの放流用種苗を生産するほか、養殖用種苗としてアコヤガイ（真珠貝）の種苗生産も行っている。

現在の生産量はマダイ60万尾、トラフグ33万尾、ヒラメ20万尾、クルマエビ310万尾、ヨシエビ350万尾、アワビ74万尾、アコヤガイ117万



尾、カザミ310万尾、ナマコなど8万尾となっている。業務は公益財団法人三重県水産振興事業団が委託を受け、施設は有効に活用されており、町の栽培漁業センターの有効活用を望んでいる

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

③ この植物工場は農林水産省のモデルハウス型植物工場実証、展示研修事業により整備され、平成23年3月に竣工した。この施設では、自然のエネルギーを最大限に利用した「太陽光利用型」に取り組んでいる。施設は実証用ハウス「イチゴ、トマト栽培用」2棟、(376坪×2)、研修用ハウス「トマト栽培用」1棟、(98坪)、選別、出荷、管理棟、1棟(118坪)で冷暖房、co2施用、補光、給液システムなどがICT化されている。トマトは長段どりの反収50~60tの生産量を目指す試験のほか、低段で多収を目指す試験など、様々の栽培試験をしている。また、イチゴは既存の品種による周年栽培の試験をしているほか、病気に強い種子繁殖型品種の開発により、周年栽培の技術を農家や地域に普及をしている。上ノ国町でも、現在農業法人が、向浜地区に太陽光利用型植物工場を建設中で、その成果を期待している。



(イチゴの作付け体系)

- 注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。  
 (例~〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)
- 2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。